

## 福井市との包括連携事業

### 福井国体で来場者の方々に料理をふるまうプロジェクト 「ふるマイスター」のエプロン・三角巾をデザイン。

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 西畑 敏秀



2018年秋に開催された福井しあわせ元気国体の期間中、福井市内で開催された14競技会場で、市から「ふるマイスター」に認定された32団体が、地元の食材を使った料理で来場者の方々をもてなしました。そのエプロンと三角巾のデザインを生活デザイン専攻の学生たちが担当。5月10日のグラフィックデザインの授業には、はぴりゅうも参加。28名の生活デザイン専攻の学生たちが、コンピュータのデザインアプリを使って大会マスコットや福井の特産品をイメージさせるイラスト、もてなしの福井弁などを構成。できあがったアイデアを学生たちの投票などで採用案が決定しました。採用されたエプロンのデザインは、大会マスコット5体が「福井で会おっさ!」と呼びかけている竹内来海のデザイン(右-1)。三角巾は、はぴりゅうがおにぎりをほおぼりながら、来場者を迎えるという高島璃奈のデザイン(右-2)。8月4日(日)にハピテラスで開催された「開幕55日前イベント」でお披露目されました。(写真上)



授業にはぴりゅうも参加して、大いに盛り上がりました。



1. 竹内来海デザインのエプロン



2. 高島璃奈デザインの三角巾

